

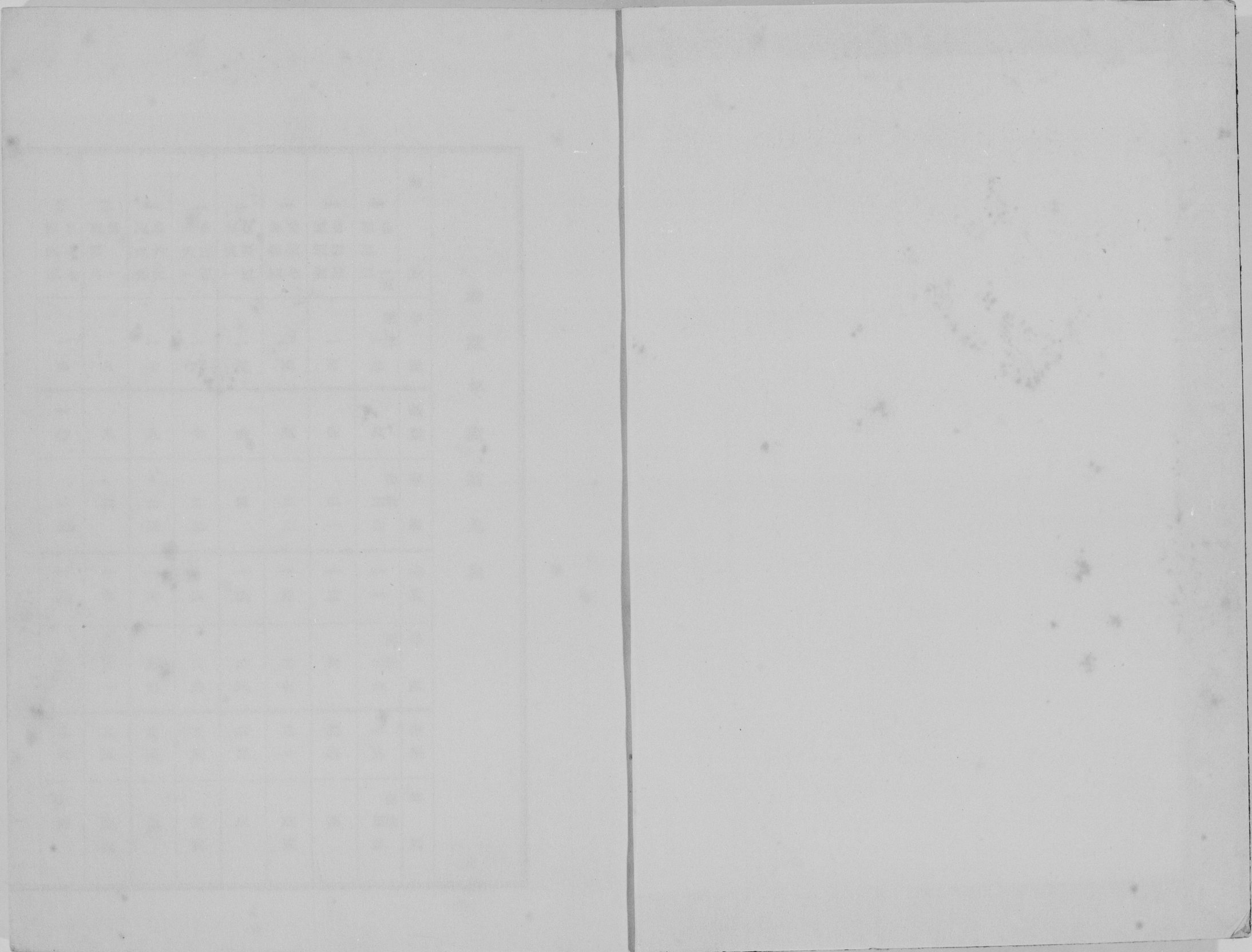
3208 343

大正天皇實錄 索引第二

圖書寮	
番號	64047
冊數	97
函號	秘 4

2 3 4 5 6 7 8 9 360 1 2 3 4 5 6 7 8 9 370 1 2 3 4 5 6 7 8 9 380 1 2 3 4

3208 344



卷數年度對比表

一	二 至自 六三 三七	二 至自 三三 六一	一 至自 六六 九三	一 至自 六五 一三	一 至自 五四 一五	一 至自 四三 四七	一 至自 三二 五三	一 至自 二二 一頁	卷 數
	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	明 一治 二	年 度
	一 〇	九	八	七	六	五	四	三	卷 數
	二 五	同	二 四	二 三	同	二 二	二 一	明 二治 〇	年 度
	一 八	一 七	一 六	一 五	一 四	一 三	一 二	一 一	卷 數
	同	三 一	三 〇	二 九	二 八	二 七	同	明 二治 六	年 度
	二 六	二 五	二 四	二 三	二 二	二 一	二 〇	一 九	卷 數
	同	三 五	同	三 四	同	三 三	同	明 三治 二	年 度

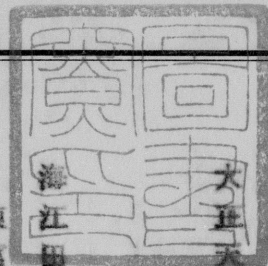
七一	七〇	六九	六八	六七	大正六
同	同	七	同	同	同
七六	七五	七四	七三	七二	大正八
一〇	同	九	同	同	同
八一	八〇	七九	七八	七七	大正〇
同	一二	同	一一	同	同
	八五	八四	八三	八二	
	同	一五	一四	一三	

三

三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	卷數
同	四〇	同	三九	同	三八	同	三七	同	明三治六	年
四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	卷數
同	四四	同	同	四三	同	四二	同	同	明四治一	年
五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	卷數
同	同	三	同	同	二	同	同	大正元	明四治五	年
六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	卷數
六	同	同	五	同	同	同	同	四	大正三	年

圖書寮

二



大正天皇實錄索引 第二

力ノ部

海江田幸吉

東宮駁出仕(任)

東宮侍從(任)

かいえす(暹國大統領)

就任ニ付キ御祝電

懷遠府

新築ニ付キ台覽

臨御

海岸寺

行啓

力

一三卷

四七

八二

二五

五一

二七

三八頁

一三

八六

三〇

四七

三二

圖書寮

力

海軍艦艇試驗所

行啓（明治四十四年）

四五卷 五九頁

海軍觀象臺

御成（明治二十年）

三 五一

海軍機關學校

卒業式二行啓（明治四十三年）

四二 二六

海軍軍醫學校

卒業式二行幸（大正六年）

六八 四五

卒業式二行幸（大正七年）

七一 六〇

攝政卒業式二行啓（大正十三年）

八二 八五

攝政卒業式二行啓（大正十四年）

八三 九二

海軍軍令部

行啓（明治三十七年）

二九 三二

二

圖書寮

海軍經理學校

行啓（明治四十五年）

四七卷 二三頁

卒業式二行幸（大正六年）

六八 四五

卒業式二行幸（大正七年）

七一 六〇

海軍省

行啓（明治三十七年）

二九 二一

海軍水産博覽會

行幸（大正五年）

六四 三

海軍水雷學校

卒業式二行啓（明治四十一年）

四一 七八

海軍水路部

御成（明治二十年）

三 五一

行啓（明治四十四年）

四五 六〇

力

三

力

海軍造兵廠

御成（明治二十六年）

海軍大學校

行啓（明治二十四年）

行啓（明治三十四年）

行啓（明治三十五年）

卒業式二行幸（大正五年）

卒業式二行幸（大正六年）

卒業式二行幸（大正七年）

攝政卒業式二行啓（大正十三年）

攝政卒業式二行啓（大正十四年）

攝政卒業式二行啓（大正十五年）

海軍短艇競漕會

一卷 一七頁

八 二七

二四 二二

二六 二二

六五 三四

六八 四五

七一 六〇

八二 八四

八三 九二

八四 一〇三

圖書寮

四

海軍特別大演習

行啓（明治二十四年）

觀艦式親閱（大正元年）

勅語

賜饌

館山二御假泊（大正八年）

觀艦式親閱

勅語

賜饌

海軍兵學校

御成（明治十九年）

御成（明治二十年）

行啓（明治二十七年）

九卷 四五頁

五〇 七八

五〇 八九

七三 四九

七三 四八

七三 四九

七三 四九

七三 四九

二 五四

三 一九

一三 四九

力

五

行啓 (明治三十二年)	二〇	三
行啓 (明治三十八年)	三二	五〇
攝政卒業式ニ行啓	八三	六五
海軍砲術學校		
卒業式ニ行啓	四一	七六
海軍煉炭製造所		
行啓	三七	三六
借行社 (東京)		
陸軍記念日第一回祝賀會ニ行啓 (明治三十九年)	三三	三一
陸軍記念日第二回祝賀會ニ行啓 (明治四十年)	三五	二一
陸軍記念日第七回祝賀會ニ行啓 (明治四十五年)	四七	二三
外國勳章		
とわぞんどーる勳章 (西國)	一六	四〇

おるどる・ど・れれふめん勳章 (丁捺圖)	二二	二頁
さん・あんどれー大綬章 (露國)	二二	二
あんのんしやーど勳章 (伊國)	二二	五
獅子大綬章 (葡國)	二二	五
さん・えちえんぬ大綬章 (埃甸國)	二二	五
金尺大綬章 (韓國)	二二	五
ちやくらくり皇室勳章 (暹國)	二二	五
神聖ふべると勳章 (葡國)	二九	二四
おるどる・ちゆ・くりすと及ビおるどる・ど・		
さんべのあ・だうひす二種合一勳章 (葡國)	二九	三三
おるどる・ろわいやる・で・せらふめん勳章 (瑞典國)	三六	八九
はいんりひ・です・れーうゑんす大十字章 (獨國)	四二	五九
獨國勳章	四九	三

かいたし勳章（英國）	四九	卷	二三
金剛石裝飾さんたんどれ勳章（露國）	六三		一〇
大勳章（支那國）	六六		三一
ぐらん・くろあ・ど・ろるどる・ろわいある・	七三		四一
ちゆ・そーぎーる大綬章（希臘）	七四		二三
はんだ・だ・ぐらんくるうづ・だす・とれず・	七四		六二
おるてんす勳章（葡國）	七八		六四
かろーる第一世勳章頸飾（羅馬國）	八〇		三三
せらふめん勳章頸飾（瑞典國）	八二		三七
さん・おらーふ大綬章竝ビニ頸飾（諾威國）	八二		四六
る・ぐらん・こるどん・ど・ろるどる・れーぐ			
る・ぶらん勳章（波蘭）			
めだいあ・ある・ゆりと勳章（智國）			

そる・でる・べるー金剛石附大綬章（秘國）	八二	卷	七二
海神社	二〇		四一
御参拜	七		四〇
海門（軍艦）	三四		四二
御成	六〇		二五
凱旋記念五二共進會	八二		七三
行啓（明治三十九年）	七七		四七
河野宮（後龜山天皇皇玄孫）			
墓御治定奉告ノ儀			
かうふまん（丁抹國公使）			
信任狀捧呈			
何恩溥（支那國陸軍中將）			
御引見			

力

雅樂

始メテ演奏ヲ御聽聞

化學工業博覽會

行幸（大正六年）

加賀美光賢

卒去

香川敬三

御用掛（任）

皇太后宮大夫（任）

臨時總修局顧問

薨去

御沙汰

香川縣下行啓

一卷

四〇頁

六八

七

三五

二六

一

五

四八

八

五七

四九

五八

二五

五八

二六

圖書寮

一〇

小豆島（明治三十二年）

二〇

二五

高松（星斗館ニ御遊泊。明治三十六年）

二八

一九

屋島

二八

二〇

琴平

二八

二三

善通寺

二八

二四

高松

二八

二六

栗島沖ニ御假泊（明治三十八年）

三二

四七

小豆島内海湾ニ御假泊

三二

五二

小豆島内海湾ニ御假泊（明治三十九年）

三三

四三

小豆島内海湾ニ御假泊（明治四十一年）

三七

三五

小豆島内海湾ニ御假泊

三七

四五

賀川滿載

御用掛（任）

一

五

力

一一

力

學費町製紙所

御成（明治二十年）

嶺崎富三郎

第十一師團長（五）

學習院

御見學

御入學

始メテ小試験ヲ御受驗

昭憲皇太后行啓御就學ヲ台覽

御風氣ニ付キ御通學ヲ中止

始メテ春季大試験ヲ御受驗

運動會ヲ御覽

豫備科第五級御卒業

一二

三卷
四六頁

六七
四一

三
一九

三
六二

三
六五

三
六六

四
三

四
五

五
二一

五
二七

圖書寮

始業式ニ台臨

春季休業

豫備科第四級御卒業

學業報告書

新校舍始業式ニ行啓

初等科第四年級ニ御進級

虎烈刺病發生ニ付キ御休學

上野分校運動會ニ行啓

御乘馬ニテ行啓

蒙古襲來ノ幻燈ヲ台覽

初等學科第四年級御卒業

輔仁會大會ニ行啓

初等學科第五年級御卒業

七卷
二〇五頁

七
二〇

七
三二

七
三三

七
四六

七
四七

七
四七

七
四九

七
五〇

七
五五

九
三三

一〇
七一

力

一三

カ

輔仁會端艇競漕會ニ行啓
 初等學科御卒業ニ付キ田中院長ノ祝辭
 初等學科御卒業ニ付キ令旨
 中等學科ニ御入學
 端艇競漕會ニ行啓
 強震ニ付キ休業
 中等學科第一年級御卒業
 通學ヲ御停止
 卒業式ニ行啓
 運動會ニ行啓
 學生ノ放鳥射擊ヲ台覽
 行啓
 行啓

一〇卷 五二頁
 一一 二六
 一二 二九
 一三 四
 一四 一七
 一五 二二
 一六 二五
 一七 三五
 一八 二九
 一九 四二
 二〇 四一
 二一 五一
 二二 二四

圖書寮

一四

端艇競漕會ニ行啓
 運動會ニ行啓
 運動會ニ行啓
 行啓
 裕仁親王就學ノ狀ヲ台覽
 韓國皇太子ト俱ニ運動會ニ行啓
 端艇競漕會ニ行啓
 裕仁・雍仁兩親王就學ノ狀ヲ台覽
 卒業式ニ行啓
 韓國皇太子ト俱ニ運動會ニ行啓
 行啓
 卒業式ニ行啓
 初等學科運動會ニ行啓

二五卷 二八頁
 三〇 三四
 三一 一七
 三二 五九
 三三 六六
 三九 二一
 四〇 二九
 四〇 四一
 四一 四
 四一 六七
 四二 一〇
 四二 二七
 四二 七二

カ

一五

運動會ニ行啓	四	四卷	一	五頁
行啓	四	五	一	〇
短艇競漕會ニ行啓	四	七	三	七
行啓	四	七	五	七
行啓	四	七	五	九
卒業式ニ行幸(大正二年)	五	一	四	三
卒業式ニ行幸(大正三年)	五	五	二	〇
卒業式ニ行幸(大正四年)	五	八	三	〇
卒業式ニ行幸(大正五年)	六	三	五	三
卒業式ニ行幸(大正六年)	六	六	四	〇
卒業式ニ行幸(大正七年)	六	九	三	一
卒業式ニ行幸(大正八年)	七	二	四	一
攝政卒業式ニ行啓(大正十一年)	七	八	四	三

圖書寮

攝政卒業式ニ行啓(大正十二年) 八〇卷 三八頁
 攝政卒業式ニ行啓(大正十三年) 八二 四一
 攝政卒業式ニ行啓(大正十四年) 八三 三三
 攝政卒業式ニ行啓(大正十五年) 八四 二九
 學制頒布五十年記念祝典

勅語

樂部

御成(明治十九年) 二 六三
 御成(明治二十年) 三 一二
 勅解由小路資生
 明宮出仕(任) 一 六〇
 日課ヲ進講 二 一九
 明宮勤務(任) 二 三八

力

明宮勤務 (免)	二卷	四二頁
堯去	一	二
勸解由小路資承	一	一
明宮勤務 (任)	三	九
東宮侍從 (任)	六	四
東宮侍從 (免)	一	八
鹿兒島縣下行啓	一	八
鹿兒島 (島津忠重別邸ニ御禮泊・明治四十年)	三六	五三
城山	三六	五五
櫻島	三六	五六
かさうらんく (暹羅公使)	八	七三
攝政ニ答禮特派大使信任狀捧呈	八	七三
攝政引見	八	三〇

一八

圖書寮

攝政引見	八	五〇頁
かさこーふ (露國公使)	三	二六
御引見	三	二六
香椎宮	二	四七
御參拜	二	四七
賢所	一	二七
始メテ御參拜	一	二七
御歸參後始メテ御參拜	二	二七
御神體遷座ニ付キ御參拜	三	二八
假殿奉遷ノ儀	八	四七
本殿奉遷ノ儀	八	四七
長慶天皇大統中ニ列セラル、ヲ親告ノ儀	八	七一
權原神宮	八	七一

力

一九

力

御参拜	六三	卷	五七
春日神社	一八		四二
御参拜			
春日山			
御登陸	二五		四九
がすばり(羅馬法王廟首相)			
勳一等旭日桐花大綬章	七六		三八
羅馬法皇ぶのわ第十五世逝去ニ付キ御弔電	七八		二〇
かすとり(佛國東洋分遣艦隊司令官)			
御引見	四六		二一
がすり(米國大使)			
信任狀捧呈	五二		四五
逝去	六六		二七

二〇

圖書寮

遺骸ヲ軍艦吾妻ニテ米國ニ移送	六六		二七
葬儀ニ付キ御名代差遣	六六		二七
香宗我部順			
嘉仁親王殿下附武官(補)	三		六六
華族會館			
御成(明治二十年)	三		九
御成(明治二十一年)	四		三六
御成(明治二十二年)	五		一五
立太子奉祝ニ付キ行啓	六		二七
行啓(明治二十三年)	七		一八
盆裁共進會ニ行啓(明治二十四年)	八		二〇
行啓(明治三十一年)	一八		二四
打毬ヲ台覽(明治三十五年)	二五		三四

力

二一

カ

打毬並ビニ弓術ヲ台覽 (明治三十九年)	三三	卷	五八
打毬ヲ台覽 (明治四十一年)	三七		六八
打毬ヲ台覽 (明治四十二年)	四〇		四一
打毬ヲ台覽	四一		七九
打毬ヲ台覽 (明治四十三年)	四二		五八
打毬ヲ台覽 (明治四十四年)	四五		六〇
打毬ヲ台覽 (明治四十五年)	四七		五六
行幸 (大正六年)	六七		一〇
華族獎勵射的會			
行啓 (明治三十二年)	一九		三〇
華族女學校 女子學習院ノ項ニアリ			
片岡七郎	三二		五
榊太占領ニ付キ令旨			

二二

圖書寮

大藏特別觀艦式指揮官	六二	卷	一五
旭日桐花大綬章	七四		二
薨去	七四		二
片岡利和	七四		二
薨去	七九		二六
片岡直温	三九		二六
商工大臣 (任)	八三		六九
片桐貞央 水野央ノ項ニアリ			
片山東熊			
勳一等旭日大綬章	六三		二六
薨去	六八		五
華頂宮邸			
御成 (明治二十年)	三		四一

カ

二三

力

行啓 (明治三十二年)	二〇卷	三頁
行啓 (明治四十三年)	四三	八
行啓 (明治四十四年)	四五	二
活人畫	三	二五
始メテ御覽	一六	一五
活動寫眞	四二	五四
始メテ台覽	二四	三三
韓國皇太子ト俱ニ台覽	四〇	一五
桂濬太郎	二九	七
東宮主事 (任)		
東宮主事 (免)		
桂太郎		
病氣御尋		

二四

圖書寮

力

邸ニ行啓	四七卷	二二頁
内大臣兼侍從長 (任)	四八	二三
元勳トシテ勅語	四八	二四
組閣ノ大命	五〇	三六
内大臣兼侍從長 (免)	五〇	三八
内閣總理大臣兼外務大臣 (任)	五〇	三八
兼外務大臣 (免)	五一	一四
閣僚ノ辭表ヲ捧呈	五一	二一
内閣總理大臣 (免)	五一	二二
元勳優遇ノ勅書	五一	二七
菊花章頸飾	五三	〇
薨去	五三	一一
詠	五三	一一

二五

桂離宮

行啓 (明治三十一年)

行啓 (明治三十三年)

加藤寛治

凱旋ニ付キ戰況ヲ奏上

浦潮方面ヨリ歸朝ニ付キ賜謁

第二艦隊司令長官 (免)

横須賀鎮守府司令長官 (補)

第一艦隊司令長官兼聯合艦隊司令長官 (補)

加藤高明

外務大臣 (任)

外務大臣 (免)

前官禮遇

一八 卷 三一 頁

二一 五九

五七 六五

七一 二八

八二 八七

八五 八七

八五 六

五一 一四

五一 二二

五一 二八

圖書寮

外務大臣 (任)

時局ニ關シテ勅語

外務大臣 (免)

前官禮遇

子爵 (任)

旭日桐花大綬章

内閣總理大臣 (任)

閣僚ノ辭表ヲ捧呈

再度組閣ノ大命

内閣總理大臣 (留任)

大勳位菊花大綬章

伯爵 (任)

薨去

五五 一五

五六 三四

五九 四五

五九 四五

六四 一九

六四 一九

八二 五六

八三 六八

八三 六八

八三 六九

八四 一一

八四 一一

力

誅

加藤定吉

第二艦隊司令長官（補）

凱旋ニ付キ勅語

第二艦隊司令長官（免）

親任官待遇（海軍教育本部長）

男爵

吳鎮守府司令長官（補）

海軍大將

吳鎮守府司令長官（免）

軍事參議官（補）

特命檢閱使

加藤泰秋

二八

八

一

五三

六〇

五七

五一

五八

一九

五九

四六

六四

二〇

六五

三五

七〇

二九

七三

七六

七三

七六

七六

四〇

圖書寮

明宮祇候（任）

明宮祇候（免）

加藤恒忠

旭日大綬章

薨去

加藤照磨

拜診醫（任）

種痘ニ奉仕

加藤友三郎

吳鎮守府司令長官（免）

第一艦隊司令長官（補）

第一艦隊司令長官（免）

海軍大臣（任）

二卷

四頁

二

六〇

八〇

三五

八〇

三五

一〇

二〇

一〇

二〇

一〇

二〇

一〇

二〇

一〇

二〇

一〇

二〇

一〇

二〇

一〇

二〇

一〇

二〇

力

二九

力

旭日大綬章
 海軍大臣（留任）
 留任ノ御沙汰
 臨時外交調査委員會委員
 海軍大臣（留任）
 世界大戰終局ニ付キ勅語
 男爵
 旭日桐花大綬章
 華盛頓會議帝國全權委員
 華盛頓ヨリ歸朝ニ付キ御沙汰
 內閣總理大臣兼海軍大臣（任）
 現役ニ列ス
 海軍大臣（免）

六四卷
 六四
 六四
 六七
 七一
 七三
 七五
 七五
 七五
 七七
 七八
 七八
 七八
 七八
 八〇

二〇頁
 四〇
 四〇
 一七
 一七
 一七
 一五
 一五
 一六
 二一
 四〇
 六五
 六七
 五〇

圖書寮

三〇

力

元帥
 子爵（任）
 大勳位菊花大綬章
 薨去
 誅
 加藤弘之
 薨去
 香取神宮
 御參拜
 棋取素彦
 勳一等瑞寶章
 薨去
 金井延

八一卷
 八一
 八一
 八一
 八一
 八一
 八一
 八一
 八一
 八一
 八一
 八一
 八一
 八一
 八一

一三頁
 一三
 一三
 一三
 一三
 一三
 一三
 一三
 一三
 一三
 一三
 一三
 一三
 一三
 一三

三一

力

勳一等瑞寶章

金崎宮

御参拜

神奈川縣下行啓

横濱（明治二十年）

横須賀

江ノ島

箱根（塔ノ澤洗心樓ニ御滞泊・明治二十一年）

江ノ島

鎌倉

横須賀（明治二十二年）

江ノ島（明治二十三年）

横須賀

八二卷
六〇頁

四一
三四

三三
四二

三三
四二

四四
三八

五五
二六

七七
二五

圖書寮

箱根（離宮ニ御滞泊）

根岸

江ノ島（明治二十四年）

鎌倉

鎌倉（前田利嗣別邸ニ御滞泊・明治二十五年）

箱根（離宮ニ御滞泊・明治二十六年）

葉山（明治二十七年）

葉山

葉山（御用邸ニ御滞泊・明治二十八年）

葉山（御用邸ニ御滞泊）

大磯（明治二十九年）

横須賀

葉山（御用邸ニ御滞泊・明治三十年）

七卷
四一頁

七八
四九

八八
三二

一〇
三七

一一
五三

一一
二四

一三
二八

一四
一五

一四
四二

一五
二一

一六
四一

三三

力

葉山 (御用邸 = 御滯泊)	一六	卷	四七
横須賀 (明治三十一年)	一七		四五
鎌倉 (毛利元昭別邸 = 御滯泊)	一七		四四
葉山 (御用邸 = 御滯泊)	一八		三八
大磯 (鍋島直大別邸 = 御滯泊)	一八		一二
横須賀	一八		五一
葉山 (御用邸 = 御滯泊・明治三十二年)	一九		一六
横須賀	一九		三五
葉山 (御用邸 = 御滯泊)	二〇		一五
葉山 (御用邸 = 御滯泊)	二〇		四九
鎌倉 (明治三十三年)	二一		六三
葉山	二一		六六
大磯 (鍋島直映別邸 = 御滯泊)	二二		六一

三四

圖書寮

力

葉山	二二	卷	二〇
葉山	二二		二五
葉山 (御用邸 = 御滯泊)	二二		七〇
葉山 (御用邸 = 御滯泊・明治三十四年)	二三		一六
鎌倉	二三		二一
小田原	二三		二二
横須賀	二三		二三
茅ヶ崎	二三		二四
小田原 (御用邸 = 御滯泊)	二三		二四
葉山 (御用邸 = 御滯泊)	二三		三一
鎌倉 (御用邸 = 御滯泊)	二三		三四
鎌倉 (御用邸 = 御滯泊)	二三		四一
鎌倉 (御用邸 = 御滯泊)	二四		一九

三五

力

葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二四	卷	一九頁
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二四		二一
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二四		二四
大磯	二四		二五
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二四		三五
録倉 (明治三十五年)	二五		四
葉山 (有松川宮別邸 = 御澁泊)	二五		一四
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二五		一八
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二五		二一
茅ヶ崎	二五		二一
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二五		三〇
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二六		四

三六

圖書寮

力

葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二六	卷	一九頁
録倉 (御用邸 = 御澁泊)	二六		二三
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二六		二五
録倉	二六		三六
葉山 (御用邸 = 御澁泊。明治三十六年)	二七		二三
録倉 (御用邸 = 御澁泊)	二七		三〇
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二八		一
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	二八		一
葉山 (明治三十七年)	二九		二
横須賀	三〇		四
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	三〇		六
葉山 (御用邸 = 御澁泊。明治三十八年)	三一		九
葉山 (御用邸 = 御澁泊)	三一		五

三七

力

横須賀
葉山
根岸
葉山 (御用邸 = 御滞泊)
葉山 (御用邸 = 御滞泊・明治四十三年)
葉山 (御用邸 = 御滞泊)
葉山 (御用邸 = 御滞泊)
葉山 (御用邸 = 御滞泊)
葉山 (御用邸 = 御滞泊)
小田原 (御用邸 = 御滞泊)
葉山 (御用邸 = 御滞泊・明治四十四年)
葉山 (御用邸 = 御滞泊)
鎌倉

四〇卷
五頁
四一
七一六
七一
七九
一三
一五
一九
二四
三〇
三五
五一
四五
四五

圖書寮

力

葉山 (御用邸 = 御滞泊)
横須賀
葉山
葉山
葉山 (御用邸 = 御滞泊・明治四十五年)
鎌倉
葉山 (御用邸 = 御滞泊)
葉山 (御用邸 = 御滞泊)
横須賀
葉山 (御用邸 = 御滞泊)
神奈川縣下行幸
横濱 (大正元年)
横須賀

四五卷
一八頁
一九
六八
二
六
一〇
一三
一六
一八
二四
五〇
五〇

四一

力

葉山（御用邸＝駐紮・大正二年）
 横須賀
 葉山（御用邸＝駐紮・大正四年）
 横須賀
 横濱
 葉山（御用邸＝駐紮・大正五年）
 横濱
 葉山（御用邸＝駐紮・大正六年）
 横須賀
 葉山（御用邸＝駐紮・大正七年）
 葉山（御用邸＝駐紮）
 葉山（御用邸＝駐紮・大正八年）
 横須賀

五二卷
 五三
 五八
 五九
 六二
 六三
 六四
 六六
 六六
 六九
 七二
 七二
 七二
 七三

二七頁
 三八
 三九
 一八
 一五
 二九
 四四
 二〇
 二二
 一八
 二五
 二五
 一四

圖書寮

四二

横濱

葉山（御用邸＝駐紮・大正九年）
 葉山（御用邸＝駐紮）
 葉山（御用邸＝駐紮・大正十年）
 葉山（御用邸＝駐紮・大正十一年）
 葉山（御用邸＝駐紮・大正十五年）
 金久保万吉
 第十師團長（補）
 第十師團長（免）
 金澤醫學專門學校
 行啓
 金澤借行社
 行啓

七三卷
 七四
 七五
 七七
 七七
 七九
 八四
 七〇
 七六
 四一
 四一
 四一

四八頁
 二六
 四三
 四八
 四一
 四一
 五六
 五七
 四二
 四三
 四三
 五一

力

四三

力

金澤地方裁判所	
行啓	四 卷
金澤文庫	
行啓	二 五
金谷範三	
第十八師團長(補)	七 九
狩野直喜	
講書始ニ進講	八 二
棒山資紀	
宮中杖	六 六
旭日桐花大綬章	六 七
大勳位菊花大綬章	七 八
堯去	七 八
	二 九
	二 九
	七
	四 〇
	一 一
	九
	二 三
	四 三 頁

四四

圖書寮

力

録		七 八 卷		二 九 頁
録倉		四		四 二
御成(明治二十一年)		一 〇		四 七
御避暑(明治二十五年)		二 三		三 八
行啓(明治三十四年)		一 〇		四 八
録倉宮		二 五		四
御参拜(明治二十五年)		二 一		三
御参拜(明治三十五年)		二 三		二 二
録倉御用邸		二 一		三
行啓(明治三十三年)		二 三		二 二
行啓(明治三十四年)		二 三		二 二
御滞泊		二 三		四 一
御滞泊		二 四		九

四五

力

青島守備軍司令官(免)	五九卷	一三頁
東京衛戍總督(補)	五九	一三
陸軍大將	六四	一六
男爵	六四	二〇
神野勝五郎	七六	五六
勳一等瑞寶章	七六	五六
上村彦之丞	三〇	一八
浦潮艦隊擊破二付令旨	五一	四三
特命檢閱使	五一	四三
上山滿之進	七六	五六
勳一等瑞寶章	七六	五六
龜井英三郎	五一	二九
薨去	五一	二九

四八

圖書寮

龜戸神社

御成(明治二十年)	三卷	三四頁
御成(明治二十一年)	四	八
龜山陵(龜山天皇)	一八	二〇
東宮侍從差遣	一八	二〇
御参拜	二二	六六
賀茂御祖神社	一八	二二
御参拜	一八	二二
賀茂別雷神社	一八	二二
御参拜	一八	二二
賀陽宮邸	一八	二二
行啓(明治三十一年)	一八	二
行啓(明治三十三年)	二一	五九

力

四九

力

唐崎	四	卷	三	頁
行啓	一	二	一	四
唐澤山神社	一	二	一	四
御参拜	一	二	一	四
華龍園	一	二	一	四
御成	一	二	一	四
假東宮御所	一	二	一	四
御移徙 (明治三十一年)	一	二	一	四
がりな (伊國大使)	一	二	一	四
御引見	三	五	七	四
御引見	三	五	七	四
かるねいろ (葡國公使)	三	五	七	四
信任狀捧呈	八	三	三	六

五〇

圖書寮

力

かるぼり (伊國大使)	七	四	卷	五	六	頁
皇太子ニ信任狀捧呈	七	四	卷	五	六	頁
かるろす第一世 (葡國皇帝)	二	九		三	三	
勳章ヲ贈進	二	九		三	三	
かろゝる (羅國皇太子)	七	四		六	二	
入京	七	四		六	二	
皇帝ノ親書竝ビニ勳章ヲ捧呈	七	四		六	二	
晩餐	七	四		六	三	
大勳位菊花大綬章	七	四		六	三	
退京	七	四		六	六	
河合操	五	四		四	三	
東宮御學問所評議員	五	四		四	三	
第一師團長 (補)	六	七		四	一	

五一

力

川畑平吉
 東宮武官（任）
 卒去
 河邊博長
 明宮祇候（兼任）
 明宮祇候（免）
 河村金五郎
 大禮使次官
 大喪使次官
 大禮準備副委員長
 大禮使次官
 川村景明
 奉天城占領ニ付テ令旨

三	五	五	五	五	二	二	二	一
一	八	六	五	三			四	九
二	三	三	五	二	六	五	一	九
五	四	七	九		〇		一	頁

五

圖書寮

陸軍特別大演習西軍司令官
 特命檢閱使
 元帥
 特命檢閱使
 元帥刀裁授
 大勳位菊花大綬章
 薨去
 御沙汰
 川村純義
 邸ニ裕仁親王移居（明治三十四年）
 邸ニ行啓
 邸ニ行啓（明治三十五年）
 邸ニ雍仁親王移居

五	五	五	五	六	七	八	八	八	八	二	二	二	二
三	五	八	六	三	三	四	四	四	四	三	二	四	四
卷													
三	五	八	六	三	三	四	四	四	四	八	二	四	四
頁													

力

五

力

葬去	三〇	卷	一九
裕仁・雍仁兩親王輔育ノ勞ヲ稱ヒ賜金	三〇		三八
川村鐵太郎	三一		五
沼津別邸ニ行啓	五〇		五
裕仁・雍仁兩親王輔育ノ勞ヲ稱ヒ賜金	三〇		三八
川村春子（姉義妻）	五〇		四
裕仁・雍仁兩親王輔育ノ勞ヲ稱ヒ賜金	三〇		三八
川村宗五郎	七六		五
第九師團長（補）	八一		〇
河村正彦	八二		五
第十三師團長（補）	七六		五
第十三師團長（免）	八一		〇
葬去	八二		五

五六

圖書寮

力

河村善益	八二	卷	七六
勳一等瑞寶章	八二		七六
葬去	六四		七
河本重次郎	八		二八
勳一等瑞寶章	一五		二八
閑院宮邸	一六		二九
行啓（明治二十四年）	二〇		三一
行啓（明治二十九年）	二二		二一
行啓（明治三十年）	二五		二四
行啓（明治三十二年）	二九		二一
行啓（明治三十三年）	三〇		二一
行啓（明治三十五年）	三二		二四
行啓（明治四十一年）	三九		四七

五七

力

皇帝・太皇帝・皇后・皇太子・慶善宮嚴氏ヨリ物ヲ御受領	三六	四二
京城御發途	三六	四三
仁川ヨリ軍艦香取ニ御搭乗	三六	四四
鎮海灣御立寄	三六	四六
韓國皇帝 李王后ノ項ニアリ	四〇	
韓國皇太子 李王后ノ項ニアリ	四〇	
韓國太皇帝 李太王后ノ項ニアリ	四〇	
韓國御渡航記念章	四〇	
御受領	四〇	四五
韓國駐劄軍司令部	四〇	
行啓	三六	三四
關西九州府縣聯合水産共進會	三六	五一
行啓	三六	

六〇

圖書寮

官職

陸軍歩兵少尉・近衛歩兵第一聯隊附	一〇	五六
陸軍歩兵中尉	一〇	五六
陸軍歩兵大尉	一四	二
陸軍歩兵少佐・海軍少佐	一八	四八
近衛師團司令部附並ビニ常備艦隊附	二〇	一四
陸軍歩兵中佐・海軍中佐	二四	二八
陸軍歩兵大佐・海軍大佐	二八	三九
第一艦隊附	二八	四八
大本營附	二九	一七
陸海軍少將	三二	三二
陸海軍中將	四一	七四
參謀本部附	四二	四八

力

六一

觀世音寺	二	二	五
行啓	二	二	五
神田乃武	八	八	五
勳一等瑞寶章	八	八	五
薨去	八	八	五
關東大震火災	八	八	五
突發	八	八	五
御料地ニ避難民ヲ收容	八	八	五
攝政災害狀況ヲ御視察	八	八	五
皇后罹災傷病者ヲ御慰問	八	八	五
内帑金下賜罹災者ニ賑恤	八	八	五
帝都復興ノ大詔ヲ渙發	八	八	五
帝都復興院ノ設置	八	八	五

圖書寮

宮中三殿ニ奉告ノ儀	八	八	二
戒嚴令ノ公布	八	八	二
國民精神作興ノ詔書ヲ渙發	八	八	二
東京震災記念事業協會ニ賜金	八	八	二
觀音崎砲臺	一	一	五
行啓	一	一	五
觀武原 盛岡練兵場ノ項ニアリ	一	一	五
神部神社	一	一	五
御參拜	一	一	五
甘露寺受長	一	一	五
御學友(任)	一	一	五
東宮職出仕(任)	一	一	五

寺

寺ノ部

紀三井寺

行啓

木内重四郎

勳一等瑞寶章

薨去

紀久子女王(鳩彦玉女子)

誕生

病氣御尋

菊池覺勝

正三位(追贈)

菊池愼之助

第三師團長(補)

六四

二八卷

一八頁

八三

八八

四六

五一

八二

二八

七三

七四

圖書寮

勳一等旭日大綬章

朝鮮軍司令官(補)

陸軍大將

朝鮮軍司令官(免)

軍事參議官兼東京警備司令官(補)

菊池大麓

勳一等瑞寶章

旭日大綬章

薨去

菊唐王(山階宮)

九條範子ト結婚ニ付キ賀品

御書ヲ賜ヒ是親王ノ病氣御尋

島津常子ト結婚ニ付キ賀品

七六卷

五三頁

七九

三六

八一

七八

八二

七〇

八二

七〇

五三

七二

六七

四二

六五

寺

大勳位菊花大綬章拜受ニ付キ賀品
 戦地ヨリ歸京ニ付キ御對面
 病氣御尋
 薨去
 一周年祭
 皇靈殿ニ合祀
 菊屋別館
 御滯泊
 紀元節
 始メテ供饌
 諒閣中ニ付キ祝宴ヲ御取止
 御遠例ニ付キ爾後出御無シ
 攝政拜禮

二八	二九	三五	三七	四〇	五三	三七	一	五一	七二	七八
四〇	四四	二六	六一	四七	七	一三	二五	二三	二八	三二

木越安綱

陸軍大臣(任)
 陸軍大臣(留任)
 陸軍大臣(免)
 木佐木幸輔
 勳一等瑞寶章
 岸本鹿太郎
 第五師團長(補)
 汽車
 始メテ御搭乗
 義親王 李相公ノ項ニアリ
 北垣國道
 旭日大綬章

五〇	五一	五二	七六	八一	二	六三
三九	二三	三二	五五	一〇	六一	二三

寺

北小路和磨	六三卷	二三頁
明宮出仕(任)	一	二八
北小路清	一	二八
東宮職出仕(任)	一	三八
北小路隨光	一	三八
明宮祓候(任)	一	一七
明宮祓候(免)	一	一七
明宮祓候(任)	二	二八
明宮祓候(免)	二	二八
北里柴三郎	八	二八
男爵	二	二八
北白川宮邸	八	二八

六八

圖書寮

御成(明治十九年)	二卷	五頁
御成(明治二十年)	三	四〇
行啓(明治二十四年)	八	二八
行啓(明治四十二年)	四	四
行啓	四	四
行啓(明治四十三年)	四	一八
行啓(明治四十四年)	四	一八
行啓(明治四十五年)	四	一七
葉山別邸二行啓(明治三十一年)	一	八
北野神社	一	八
御參拜	一	二
北山宮(後龜山天皇皇玄孫)	六〇	二五
墓御治定奉告ノ儀	六〇	二五

六九

木戸孝正	二	三五
東宮侍從長(任)	二	三五
東宮侍從長(免)	三	三八
薨去	三	三八
木下宇三郎	六	四一
第十二師團長(免)	七	四一
木下俊信	七	四五
御相手(任)	七	四五
御學友(任)	二	五九
御學友(免)	三	六八
吉備樂	七	七〇
後樂園ニ於テ台覽	二	三二
岐阜縣下行啓	二	三二

岐阜(本派本願寺岐阜別院ニ御滯泊・明治四十二年)	四	一九
大垣	四	二三
大垣(戸田氏共別邸ニ御滯泊・明治四十三年)	四	三一
各務原(明治四十四年)	四	三七
各務原(特別騎兵演習)	六	三七
木村壯介	四	三七
勳一等瑞寶章	五	一六
旭日大綬章	六	二二
木村剛	六	二二
勳一等瑞寶章	七	五五
休日	七	五五
制定公布	八	四五
救恤	八	四五
東京市内火災(明治二十三年)	七	一八

田子浦海嘯（明治三十二年）	二〇卷	二〇頁
高知縣下暴風雨（大正元年）	四八	五三
北海道夕張炭礦爆發以下九件（大正二年）	五一	七
櫻島爆發以下二十五件（大正三年）	五四	一八
高知縣久禮町火災以下九件（大正四年）	五八	一四
長崎縣定期航海汽船沈沒以下八件（大正五年）	六三	七三
臺灣南投廳管內地震以下十六件（大正六年）	六六	六
新潟縣三俣村雪害以下十二件（大正七年）	六九	一五
南洋まーし <small>る</small> 群島暴風及海嘯以下十七件（大正八年）	七二	一三
朝鮮總督府管內暴風雨以下十四件（大正九年）	七四	三四
鹿兒島縣下颶風以下二十一件（大正十年）	七六	一六
北陸線雪害以下十三件（大正十一年）	七八	二七
福井縣丹生園見村火災以下十三件（大正十二年）	八〇	四一

九州帝國大學	六五	二五
行啓	八四	四
北海道坂炭礦爆發以下十六件（大正十三年）	八二卷	九頁
長崎縣下汽船遭難以下十一件（大正十四年）	八三	二八
南洋廳管內風水害以下十六件（大正十五年）	八四	四
宮中席次令	五八	二〇
公布	五八	二〇
宮中杖勅許	五四	三〇
松方正義以下四名（大正三年）	五六	四〇
山縣有朋以下四名（大正六年）	六六	四〇
德大寺實則（大正七年）	六九	八
河瀬眞孝以下二名（大正八年）	七二	八
淺野長勳以下二名（大正九年）	七六	六二

七

田中光顯以下二名（大正十一年）	七九	二四
黒木爲楨以下二名（大正十二年）	八〇	八
井上良馨以下三名（大正十三年）	八二	六
奥保鞏以下二名（大正十四年）	八三	一五
東郷平八郎以下三名（大正十五年）	八四	三
宮中喪		
白國皇后崩御	二六	二〇
韓國明憲太后崩御	二九	四
清國皇帝竝ビニ太皇太后崩御	三九	四〇
白國皇帝れおほゝる第二世崩御	四一	八五
英國皇帝えどわゝど第七世崩御	四二	四七
西國てれさ内親王薨去	四九	四五
白國皇母崩御	五〇	二九

七四

圖書寮

威仁親王薨去	五二	三五頁
恒久王薨去	七二	四九
依仁親王薨去	七八	七一
成久王薨去	八〇	三九
博忠王薨去	八二	三八
英國皇太后崩御	八三	九〇
丁抹國皇太后崩御	八四	二七
教育		
高田文部大臣ヲ召シ教育振興ノ御沙汰	六二	一〇
臨時教育會議ノ設置	六七	四九
高等教育機關擴張ニ付キ賜金	七一	七二
教育品展覽會		
御成（明治二十二年）	五	三七

七

七五

行啓

神奈川縣下（明治二十年）
 神奈川縣下
 埼玉縣下
 埼玉縣下
 静岡縣下（明治二十一年）
 神奈川縣下
 神奈川縣下
 静岡縣下（明治二十二年）
 神奈川縣下
 静岡縣下
 静岡縣下（明治二十三年）
 神奈川縣下

三卷
 三
 三
 三
 三
 四
 四
 四
 四
 五
 五
 五
 七
 七
 二五

神奈川縣下
 静岡縣下
 神奈川縣下
 静岡縣下（明治二十四年）
 千葉縣下
 三重縣下
 静岡縣下（明治二十五年）
 千葉縣下
 神奈川縣下
 群馬縣下
 神奈川縣下（明治二十六年）
 千葉縣下
 静岡縣下

七卷
 七
 七
 八
 八
 九
 〇
 〇
 〇
 〇
 〇
 〇
 〇
 一
 一
 一

二七頁
 三八
 四九
 二
 二
 二
 二
 二
 二
 二
 二
 二
 二
 一
 一
 一

寺

神奈川縣下	三〇	卷	四頁
栃木縣下	三〇		九頁
神奈川縣下	三一		四三頁
静岡縣下（明治三十八年）	三一		一五頁
神奈川縣下	三一		二九頁
神奈川縣下	三一		三六頁
栃木縣下	三二		三七頁
三重縣下	三二		三七頁
廣島縣下	三二		四五頁
神奈川縣下（明治三十九年）	三三		四五頁
神奈川縣下	三三		二七頁
神奈川縣下	三三		三二頁
廣島縣下	三三		三八頁

八四

圖書寮

寺

栃木縣下	三四	卷	九頁
愛知縣下	三四		二四頁
神奈川縣下（明治四十年）	三五		一一頁
山陰道	三五		三五頁
栃木縣下	三六		三五頁
韓國・九州・四國地方	三六		一六頁
神奈川縣下（明治四十一年）	三七		一八頁
静岡縣下	三七		一三頁
神奈川縣下	三七		一四頁
山口・徳島兩縣下	三七		三二頁
栃木縣下	三八		三八頁
福島・山形・秋田・青森・岩手・宮城六縣下	三八		一三頁
神奈川縣下	三九		二八頁

八五

寺

神奈川縣下
 神奈川縣下（大正五年）
 奈良縣下
 栃木縣下
 神奈川縣下
 福岡縣下
 神奈川縣下（大正六年）
 神奈川縣下
 栃木縣下
 千葉縣下
 京都府下
 神奈川縣下（大正七年）
 栃木縣下

六二卷
 六三
 六三
 六四
 六四
 六五
 六六
 六六
 六七
 六七
 六八
 六八
 六九
 七〇
 一五頁
 二九
 五四
 二八
 四四
 一九
 二〇
 二二
 三五
 五一
 一一
 一八
 五三

九〇

圖書寮

寺

栃木・茨城兩縣下
 神奈川縣下（大正八年）
 神奈川縣下
 栃木縣下
 神奈川縣下
 京都府・兵庫縣下
 神奈川縣下（大正九年）
 静岡縣下
 栃木縣下
 神奈川縣下
 静岡縣下（大正十年）
 栃木縣下
 神奈川縣下

七一卷
 七二
 七三
 七三
 七三
 七三
 七三
 七三
 七三
 七三
 七三
 七四
 七四
 七五
 七五
 七五
 七六
 七七
 七七
 四八
 四五頁
 二五
 一四
 二四
 四六
 五九
 二六
 五五
 四三
 四三
 六五
 一
 四八

九一

キ

栃木縣下（大正十一年）
 神奈川縣下
 栃木縣下（大正十二年）
 静岡縣下
 栃木縣下（大正十三年）
 静岡縣下
 栃木縣下（大正十四年）
 神奈川縣下（大正十五年）
 京極高德
 明宮祇候（任）
 明宮祇候（免）
 明宮勤務（任）
 共同競馬場

七九卷
 七九
 八一
 八一
 八一
 八二
 八三
 八四
 二
 二
 四
 四二
 六〇
 三九

九二

圖書寮

行啓（明治二十二年）
 京都御所

駐蹕（大正二年）
 駐蹕（大正四年）
 駐蹕（大正六年）
 駐蹕（大正八年）

京都高等工藝學校
 行啓
 京都市立繪畫專門學校
 行啓

京都帝國大學
 行啓（明治三十三年）
 行啓（明治四十三年）

六卷
 五三
 六一
 六八
 七三
 四三
 四三
 二一
 四三
 二六
 一三
 六九
 三九
 四〇
 六〇
 三八

キ

九三

中

行啓 (明治四十四年)

卒業式ニ邦彦王ヲ差遣 (大正六年)

創立二十五周年記念式ニ邦彦王ヲ差遣

京都博物館

行啓

京都府下行啓

京都 (二條離宮ニ御滯泊・明治三十一年)

京都 (二條離宮ニ御滯泊・明治三十三年)

京都 (二條離宮ニ御滯泊)

京都 (二條離宮ニ御滯泊・明治三十六年)

舞鶴 (水交社ニ御滯泊・明治四十年)

宮津

九四

四六卷 七五頁

六七 三四

七八 三七

二一 六〇

一八 一八

二一 五六

二二 三〇

二八 三五

三五 四二

圖書寮

舞鶴港ニ御假泊
福知山

京都 (二條離宮ニ御滯泊)

京都 (二條離宮ニ御滯泊・明治四十三年)
工兵特別演習

孝明天皇山陵等ニ御参拜

舞鶴

京都 (二條離宮ニ御滯泊・明治四十四年)

京都 (二條離宮ニ御滯泊)

京都 (二條離宮ニ御滯泊)

京都府下行幸

伏見桃山陵ニ親謁 (大正元年)

京都 (御所ニ駐蹕・大正二年)

伏見桃山陵ニ親謁

三五卷 六九頁

三五 六九

三五 七〇

四三 二九

四三 三二

四四 八

四五 二五

四六 七四

四六 七九

五〇 二

五三 二六

五三 二六

九五

寺

伏見桃山陵・伏見桃山東陵ニ親謁（大正三年）	五五	卷	三八
伏見桃山陵・伏見桃山東陵ニ親謁（大正四年）	五九		八
京都（御所ニ駐蹕）	六一		一
京都（御所ニ駐蹕・大正六年）	六八		一二
伏見桃山陵・伏見桃山東陵ニ親謁	六八		一三
京都（御所ニ駐蹕・大正八年）	七三		六九
伏見桃山陵・伏見桃山東陵ニ親謁	七三		六九
京都府立醫學專門學校	四三		四二
行啓	四三		四二
京都府立圖書館	四三		四二
行啓	四三		四二
清浦奎吾	五四		四七
組閣ノ大命ヲ拜辭	五四		四七

九六

圖書寮

樞密院副議長（任）	六六	卷	三五
旭日桐花大綬章	七五		一三
樞密院議長（任）	七八		二六
内閣總理大臣（任）	八二		三
内閣總理大臣（免）	八二		三七
前官禮遇	八二		三七
瀧子女王（鳩彦王女子）	八二		三七
誕生	七三		四二
清棲家教	八一		四
勳一等瑞寶章	八一		四
薨去	八一		四
きよそね（大藏省印刷局雇伊國人）	四		三七
御肖像ヲ拜寫	四		三七

寺

九七

きりる・うあじみろういち (露國皇族)

假東宮御所訪問

二六卷 四頁

金允植

朝鮮總督府中樞院副議長 (免)

四八 二三

新雲鵬 (支那國陸軍上將銜)

御引見

六八 四九

夕ノ部

銅路公會堂

御滯泊

四六 三五

九條道孝

明宮祇候 (任)

一 一七

明宮祇候 (免)

一卷 五八頁

邸ニ行啓 (明治二十九年)

一五 一六

病氣御尋 (明治三十一年)

一七 三八

妃ト俱ニ邸ニ行啓 (明治三十三年)

二二 九

邸ニ行啓病氣御尋 (明治三十九年)

三三 二

薨去

三三 二

大禮終了ニ付キ靈前ニ勅使差遣

六二 二四

楠瀬幸彦

陸軍大臣 (任)

五二 三二

陸軍大臣 (免)

五五 一六

くすたふ第五世 (瑞典國皇帝)

勳章ヲ贈進

三六 八八

皇太后崩御ニ付キ御弔電

五三 七四

夕

崇仁親王誕生ノ祝電ヲ寄ス	六二	卷	一	四頁
皇子薨去ニ付キ御弔電	七一		一	三
裕仁親王ニ勳章ヲ贈進	七三		四	五
皇太子妃薨去ニ付キ御弔電	七四		五	二
負傷御尋	七八		五	五
勳章ヲ贈進	七八		六	四
くすたふ・あどるふ(瑞典國皇太子)	八四		六	二
攝政引見	八四		六	二
くせのぼーる(暹羅特派使節)	六八		二	八
信任狀捧呈	六八		二	五
逝去	六八		二	八
宮内省	五六		四	
官制等改正	五六		四	

圖書寮

一〇〇

宮内職員懲戒免除
公布

宮内大臣	四五		五	三頁
波多野敬直	七四		六	
中村雄次郎	七六		三	〇
牧野伸顯	八三		三	〇
一木喜徳郎	五二		四	七
邦家親王(伏見宮)	二九		六	
四十年祭	六七		一	一
邦芳王(貞愛親王男子)	二九		六	
病氣御尋	六七		一	一
恭仁子女王(多嘉王女子)	六七		一	一
誕生	六七		一	一

夕

一〇一

夕

初参拜

久邇宮邸

行啓 (明治四十三年)

行啓 (明治四十四年)

邦憲王 (賀陽宮)

大勳位菊花大綬章拜受ニ付キ賀品

薨去

皇靈殿ニ合祀

邦久王 (邦彦王男子)

誕生

成年ニ付キ賜冠

勳一等旭日桐花大綬章

臣籍降下

一〇二

八二卷
二五頁

四二
一七

四六
七

二八
四〇

四一
八三

五三
七

二五
一三

八〇
一五

八一
三

八一
三

八一
三

圖書寮

侯爵ヲ授ケ久邇ノ家名ヲ賜フ
邦英王 (邦彦王男子)

誕生

邦彦王 (久邇宮)

短刀ヲ獻上

日本競馬俱樂部春季會ニ差遣

日本競馬俱樂部秋季會ニ差遣

臨時神宮祭主 (兼任)

日本競馬俱樂部春季會ニ差遣

京都帝國大學卒業式ニ差遣

第十五師團長 (補)

第十五師團長 (免)

近衛師團長 (補)

八一卷
四一頁

四二
四九

二一
六八

五八
一八

五八
一八

六〇
三三

六七
三三

六七
三四

六七
四一

七〇
五七

七〇
五七

一〇三

夕

一〇六

久保田謙	六	八	卷
樞密顧問官(在)	六	八	二頁
旭日大綬章	七	二	六八
宮中杖	八	四	三
熊澤油田	二	五	四五
行啓	六	四	二三
限徳三	八	一	四四
勳一等旭日大綬章	六	四	二三
薨去	八	一	四四
熊本縣下行啓	六	四	二三
熊本(借行社=御滯泊・明治三十三年)	六	四	二三
倉富勇三郎	六	四	二三
親任官待遇(帝室會計審査局長官)	六	四	二三

圖書寮

夕

一〇七

勳一等瑞寶章	七	三	卷
樞密顧問官(兼任)	七	五	二五
宗秩寮總裁事務取扱	七	七	一九
樞密院副議長(在)	八	三	一〇一
男爵	八	四	九七
ぐらーふ(蘭國公使)	八	四	九七
攝政引見	七	九	三二
ぐりすこむ(米國公使)	七	九	三二
御引見	二	七	二八
くりすちあん第十世(丁抹國皇帝)	二	七	二八
大禮ノ祝電ヲ寄ス	六	一	八二
皇太后病氣ニ付キ御電報	七	九	六
皇太后崩御ニ付キ御電報	八	四	二七

夕

くりすちんぬ (西國皇帝)	一六	卷	四〇	頁
勳章ヲ贈進				
くりすちいな (西國攝政皇太后)	二五		三三	
皇祖父崩御ニ付キ御弔電				
栗田直八郎				
第十四師團長 (免)	七三		五三	
東京衛戍總督 (補)	七三		五三	
旭日大綬章	七六		五三	
薨去	八四		五九	
ぐりーうす (米國亞細亞艦隊司令長官)				
御引見	七三		七八	
ぐりーん (英國大使)				
信任狀捧呈	五一		三五	

一〇八

圖書寮

夕

勳一等旭日桐花大綬章	六〇	卷	三〇	頁
御引見	七三		二四	
くるへんすきー (露國大使)				
信任狀捧呈	六四		一〇	
假政府信任狀ヲ捧呈	六七		一六	
くるんはあく (埃洪國大使)				
御引見	四〇		四二	
吳軍港				
行啓 (明治二十七年)	一三		四六	
行啓 (明治三十二年)	二〇		三四	
行啓 (明治四十四年)	四五		二一	
ぐれつふ (蘭國公使)				
信任狀捧呈	七四		五二	

一〇九

夕

黒井俵次郎

第三艦隊司令長官(補)

第三艦隊司令長官(免)

舞鶴鎮守府司令長官(補)

黒岩静山

拜診醫(任)

拜診醫(免)

くろえんがねると(断威國臨時代理公使)

攝政引見

黒川通軌

東宮武官長兼東宮大夫(任)

東宮御輔導ノ御沙汰書

御學業時間割改正ヲ奏上

一一〇

七一 卷
六 頁

七三 七 七 六

七三 七 七 六

三 六 四

四 二 〇

八三 九 二

一一 一 五 四

一一 一 五 四

一五 四 〇

圖書寮

兼東宮大夫(免)
東宮武官長(免)

薨去

黒木御所址

行啓

黒木爲楨

九運城占領ニ付キ令旨

樺樹林子及様子嶺ノ戦捷ニ付キ令旨

樞密顧問官(任)

宮中杖

薨去

御沙汰

黒瀬義門

一六 三 一

一六 三 一

二七 二 一

三五 六 七

二九 三 六

三〇 一 三

三〇 五 〇

八〇 八

八〇 二 三

八〇 二 三

一一一

夕

黒田清隆	七三	卷	三三	頁
英國船ノ模写ヲ献上	三		三七	
環游日記ヲ献上	四		三一	
御寫眞ヲ下賜	二〇		四五	
薨去	二二		一八	
黒田清綱	六一		四九	
大嘗祭悠紀地方風俗歌ヲ詠進	六一		三七	
旭日桐花大綬章	六六		三七	
薨去	六六		三七	
黒田長和	一九		三〇	
東宮職出仕(任)				
黒田長成				

圖書寮

一一二

夕

勳一等瑞寶章	六一	卷	三一	頁
樞密顧問官(任)	八二		一一	
黒田久孝	一六		三一	
東宮武官長(補)	一七		四三	
東宮武官ニ補シ東宮武官長ト爲ス	二二		六八	
薨去	七七		四七	
くろーでる(佛國大使)	八四		二九	
攝政ニ信任狀捧呈	三二		一七	
攝政引見	三九		四二	
桑野鏡				
東宮主事心得(任)				
ぐみつちより(伊國大使)				
御引見				

一一三

夕	長良	陸奥	北上	多摩	長門	球磨	龍田	天龍	日向	伊勢	山城	扶桑	榛名
	七六	七四	七四	七四	七二	七二	六九	六九	六六	六三	五八	五四	五二
一五	二〇	五七	三〇	二九	六三	六三	二六	二五	一九	四八	一八	四七	七頁

夕	御引見	軍艦進水式	愛宕	島海	明石	筑波	生駒	薩摩	利根	攝津	筑摩	比叡	霧島
	六	四	三	三	一	三	三	三	三	四	四	五	五
一四	卷	三	三	三	六	二	三	四	六	五	五	〇	二
	一頁	四	四	一	七	四	三	九	〇	一	二	二	七

圖書寮

夕

五十鈴	七六	二〇
鳳翔	七六	二〇
加賀	七六	四四
土佐	七六	四四
加古	八三	二四
赤城	八三	二四
衣笠	八四	二八
青葉	八四	二八
軍旗親授式		
步兵第七十三・第七十四・第七十七・七十九・第		
八十・騎兵第二十七聯隊	六三	七〇
陸軍歩兵第七十五・第七十六聯隊	七五	二五
騎兵第二十八聯隊	七七	一

一一六

圖書寮

夕

軍旗奉還式	七三	一〇
後備歩兵聯隊		
軍事參謀官會議	六六	三九
軍旗制式ヲ審議		
くんどうりおちす(希國攝政)	七五	二八
皇帝あれきさんどる崩御ニ付キ御弔電		
軍備		
國防方針ノ審議	七〇	三一
寺内首相ニ勅語	七〇	三一
上原參謀總長・島村軍令部長ニ勅語	七〇	三二
群馬縣下行啓		
太田(大光院ニ御滯泊・明治二十五年)	一〇	五三
高崎(中島伊平宅ニ御滯泊・明治三十五年)	二五	三七

一一七

夕

前橋 (臨江閣ニ御滯泊)	二五	卷	五一
富岡	二五		五三
桐生	二五		五四
伊香保 (岩橋久彌別邸ニ御滯泊)	二五		五五
前橋 (臨江閣ニ御滯泊・明治四十一年)	三九		三〇
高崎 (近衛師團機動演習)	三九		三三
訓盲啞院	三		五
御成 (明治二十年)	三		五
軍用電信隊	三		五
御成 (明治二十年)	三		五
くーりつち (米國大統領)	八		六
息逝去ニ付キ御弔電	八		六
就任ニ付キ御祝電	八		六

一一八

圖書寮

鳩彦王・同妃允子内親王歡待ニ付キ御禮電	八三	卷	八八
父逝去ニ付キ御弔電	八四		二六
ふろりた州災害ニ付キ存問ノ御電報	八四		六七
くーるまん (白頭首相)	七		二
勳一等旭日大綬章	七		二

夕

一一九

3208 407

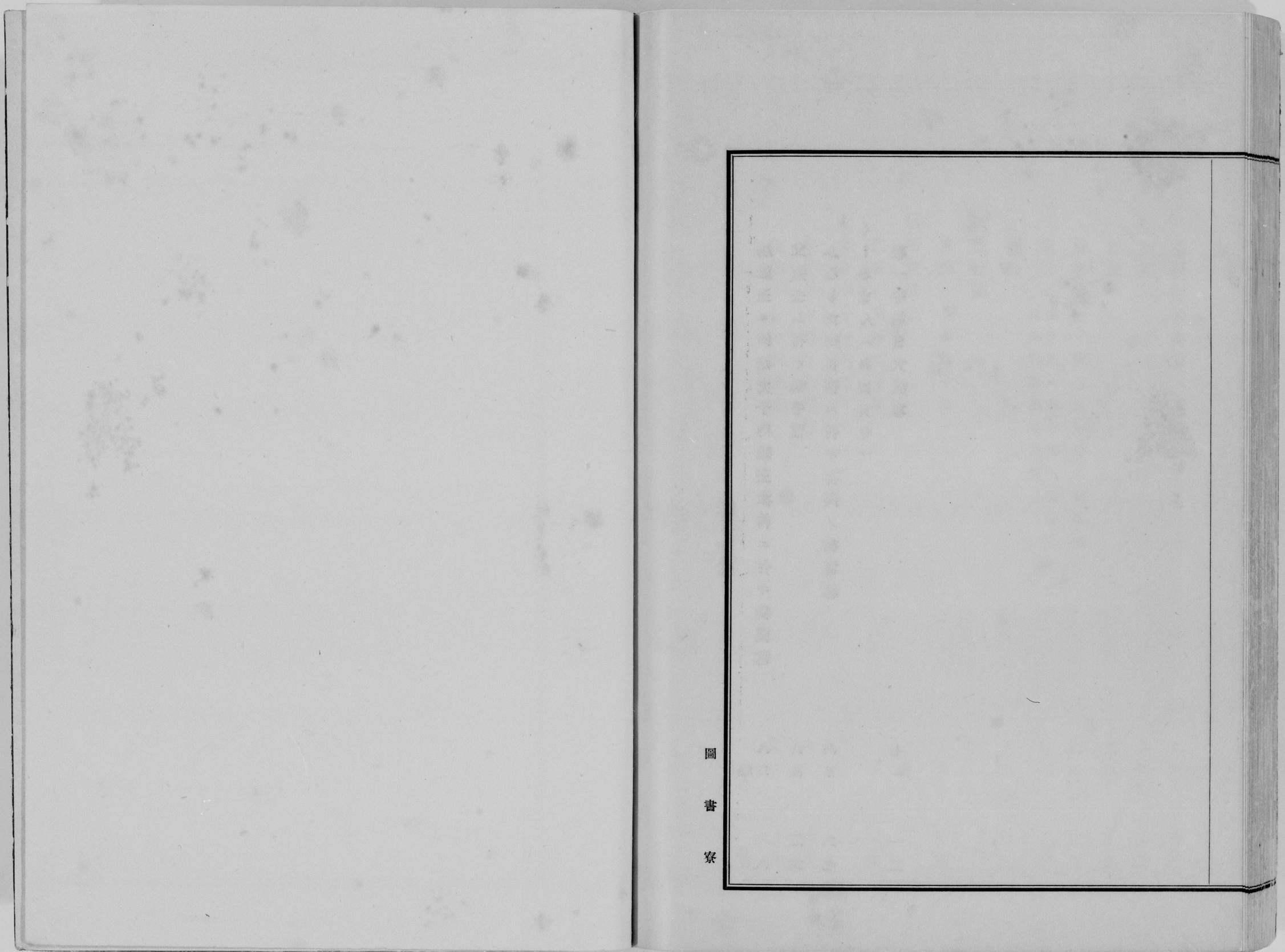


圖
書
寮

3208 408

64047

3208 409

